

日常生活動作に対するリハビリテーションの効果（2023年度）

※FIM（Functional Independence Measure：機能的自立度評価法）

FIMは、日常生活における基本動作の自立度を評価する指標で、運動項目と認知項目の計18項目を7段階で評価します。得点が高いほど、日常生活動作の自立度が高いことを示します。

入院患者全対象

項目	全体 (N = 822)	運動器 (N = 324)	廃用症候群 (N = 351)	呼吸器 (N = 92)	脳血管 (N = 55)
年齢, 歳	78	78	79	81	74
性別, 女性%	53.8	62.0	50.0	35.9	27.3
透析あり, %	59.1	36.1	66.1	73.9	69.1
介入日数, 日	27.1	31.4	23.9	18.3	35.3
在宅復帰率, %	74.0	77.8	74.1	68.5	60.0
自宅復帰率, %	61.4	66.7	60.4	51.1	54.5
入院時 FIM, 点	79	80	83	69	70
退院時 FIM, 点	87	96	92	72	78
FIM 改善, 点	8	16	9	3	8

急性期のみ

項目	全体 (N = 446)	運動器 (N = 148)	廃用症候群 (N = 214)	呼吸器 (N = 56)	脳血管 (N = 28)
年齢, 歳	78	77	78	82	73
性別, 女性%	46.2	57.4	46.3	30.4	17.9
透析あり, %	58.1	28.4	71.0	78.6	75.0
介入日数, 日	21.2	24.4	19.5	13.4	32.5
在宅復帰率, %	70.9	71.6	75.7	58.9	53.6
自宅復帰率, %	60.1	63.5	62.1	46.4	53.6
入院時 FIM, 点	80	80	84	69	67
退院時 FIM, 点	89	96	90	73	75
FIM 改善, 点	9	16	6	4	8

地域包括直入院のみ

項目	全体 (N = 137)	運動器 (N = 63)	廃用症候群 (N = 57)	呼吸器 (N = 9)	脳血管 (N = 8)
年齢, 歳	81	79	83	83	76
性別, 女性%	60.6	65.1	59.6	66.7	25.0
透析あり, %	40.1	46.0	38.6	44.4	50.0
介入日数, 日	30.2	33.5	28.3	20.4	28.6
在宅復帰率, %	73.7	76.2	70.2	77.8	75.0
自宅復帰率, %	59.1	61.9	56.1	44.4	75.0
入院時 FIM, 点	82	80	83	73	94
退院時 FIM, 点	91	93	88	78	104
FIM 改善, 点	9	13	5	5	10

入院患者全対象【透析を受けている患者の比較】

	透析あり (N = 456)	透析なし (N = 366)
年齢, 歳	76	81
性別, 女性%	39.3	66.9
介入日数, 日	28.4	25.2
在宅復帰率, %	73.9	74.0
自宅復帰率, %	60.7	62.3
入院時 FIM, 点	81	79
退院時 FIM, 点	89	92
FIM 改善, 点	8	13

◆2019 年度から 2023 年度までの推移

	FIM	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
全体	入院時, 点	79	76	84	79	79
	退院時, 点	86	85	96	85	87
	FIM 改善, 点	7	9	4	6	8
	在宅復帰率, %	72.4	74.0	73.9	71.8	74.0
運動器	入院時, 点	85	81	85	84	80
	退院時, 点	96	95	105	92	96
	FIM 改善, 点	11	17	9	12	16
廃用症候群	入院時, 点	79	78	89	82	83
	退院時, 点	84	84	95	85	92
	FIM 改善, 点	5	6	2	3	9
呼吸器	入院時, 点	65	58	56	71	69
	退院時, 点	67	62	61	71	72
	FIM 改善, 点	2	4	0	0	3
脳血管	入院時, 点	74	60	58	63	70
	退院時, 点	76	70	74	68	78
	FIM 改善, 点	3	9	2	5	8

リハビリテーションを実施した患者さんを 全入院患者・急性期病棟・地域包括ケア病棟 に分けて集計しました。2023 年度も、リハビリテーションを実施した多くの患者さんで、入院時と比較して退院時の FIM が改善し、日常生活動作の向上が確認されました。今後も、患者さん一人ひとりの状態に合わせたリハビリテーション医療を提供し、より良い生活機能の回復を支援してまいります。

作成者：井上病院 リハビリテーション科 黒田 健太